

ストラテジ ケーススタディ3

CLINICSのシステム化計画事例

本講座の目的

- ◆ 本講座は、ケーススタディ(事例研究)による演習スタイルで実施する。
- ◆ 一般にケーススタディは、具体的なケース(事例)を取り上げ、問題点やその原因を分析したり、解決方法を構想したりすることを通して、問題発見・解決力や意思決定力、企画力などの向上を図ることを目的とする学習方法である。
- ◆ 本研修のケーススタディでは、ケース「CLINICSのシステム化計画事例」を題材として、ケースの中の課題を分析し、IT活用のポイント、成功要因の分析を行う。

講座の流れ

No	講義項目	講義内容	時間
1	導入	① 講座の目的や流れの説明 ② ケースの説明	20分
2	個人ワーク	① 個人ワークとして提示された課題を考える ② 個人ワークで考えた内容をまとめる	20分
3	グループワーク	① グループとしての意見・根拠などをディスカッション ② 発表用の資料作成	90分
4	グループ発表	① グループワークでディスカッションした内容を発表 ② グループ発表への質疑応答	40分
5	講評	① 各グループの発表に対する講評 ② 参考事例の解説	10分

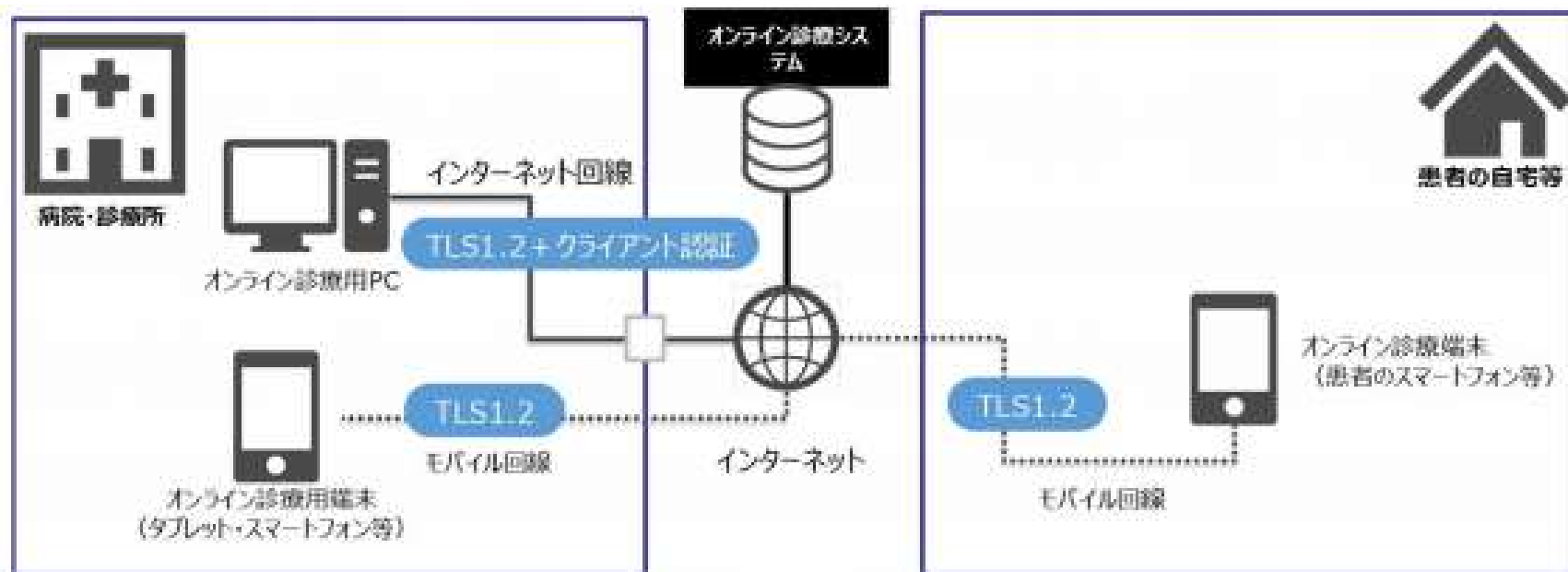
オンライン診療の位置づけ

- オンライン診療は、ICT を活用し、医師と患者が離れた場所でありながら、患者の状態を把握し、診療を行うもの
- 患者の外来通院あるいは医師の訪問診療など、対面による診療行為と適切に組み合わせながら、これを補完するもの



総務省の定義するオンライン診療システム

- 遠隔地の医師がテレビ電話等の ICT ツールを活用して、患者の顔色や表情、動作等を確認しながら問診を行うことを可能にするシステム
- テレビ電話等だけでなく、体重、血圧等のバイタルデータや問診記録等を伝送可能なシステムもある



オンライン診療の制約

- オンライン診療はあくまでも対面診療と組み合わせて行われるもの
- 初診では原則的に対面診療が必須



対面診療との組み合わせが必須

オンライン診療は、対面診療と組み合わせることをご利用いただけます。初診では原則的に対面診療が必要となります。また、診療内容や患者様の状態によって、初診・再診に関わらず対面診療が必要になる場合があります。



かかりつけ医と相談を推奨

オンライン診療にご関心のある方はまずかかりつけ医に相談することを推奨しています。初診は来院のうえ受診し医師がオンライン診療を利用可能と判断した場合のみ利用できます。

個人ワーク①

対面診療と比較した場合の、オンライン診療のメリットとデメリットを考えなさい

項目	内容
オンライン診療 のメリット	
オンライン診療 のデメリット	

個人ワーク②

オンライン診療を設計する場合、注意が必要な事項を、「ハードウェア」、「ネットワーク」、「セキュリティ」、「災害」に分けて考えなさい

項目	注意が必要な事項
ハードウェア	
ネットワーク	

個人ワーク②

オンライン診療を設計する場合、注意が必要な事項を、「ハードウェア」、「ネットワーク」、「セキュリティ」、「災害」に分けて考えなさい

項目	注意が必要な事項
セキュリティ	
災害	

「医師法第20条無診察診療の禁止」の経緯



新型コロナウイルス感染症に対する特例

- 2020年4月10日付で厚生労働省から発出された事務連絡
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての時限的・特例的な取扱い
- 初診から電話や情報通信機器を用いた診療により診断や処方をして差し支えないこと等の特例措置

1 診療内容の確認

電話・オンライン診療を行っているか確認

受診しようと考えている医療機関のホームページを確認するか、直接医療機関の窓口に、電話やオンラインによる診療を行っているかご確認ください。

電話・オンラインによる診療はしていますか？

かかりつけ医等 または 最寄りの医療機関

まずは、普段からかかっているかかりつけ医等にご相談ください。かかりつけ医等をお持ちでない方は、下記のホームページから電話・オンラインによる診療を行っている最寄りの医療機関*にご連絡ください。

*医師の判断によっては、すぐに医療機関を受診する必要があるため、できるだけお住まいの近くの医療機関を選択することをお勧めします。

2 事前の予約

電話の場合

電話の場合は、医療機関に電話し、保険証などの情報を医療機関に伝えた上で予約します。

オンライン診療の場合

オンライン診療の場合は、医療機関によって予約方法は異なります。詳しくは各医療機関のホームページをご覧ください。

支払い方法の確認

予約の際に合わせて支払い方法についても確認します。

3 診療

診療開始

医療機関側から着信があるか、オンラインで接続され、診療が開始します。

本人確認後、症状説明

まずは、受診を希望されているご本人であることを確認するために、求められた個人情報を伝えた後に、症状等をご説明してください。電話やオンラインによる診療では診断や処方が困難な場合があることにはご注意ください。

4 診療後

医療機関への来訪を推奨されたら

医療機関に来訪して受診するよう推奨された場合は、必ず医療機関に直接かかるようにしてください。

薬の処方を受けた場合

薬が処方され、薬の配送を希望する場合は、薬を出してもらい最寄りの薬局を医療機関に伝えた上で、診察後、薬局に連絡してください。電話やオンラインによる服薬指導を受けられ、その後、薬が配送されます(薬局に来訪されて服薬指導を受ける必要がある場合もあります)。

株式会社メドレーの大切にしている価値観

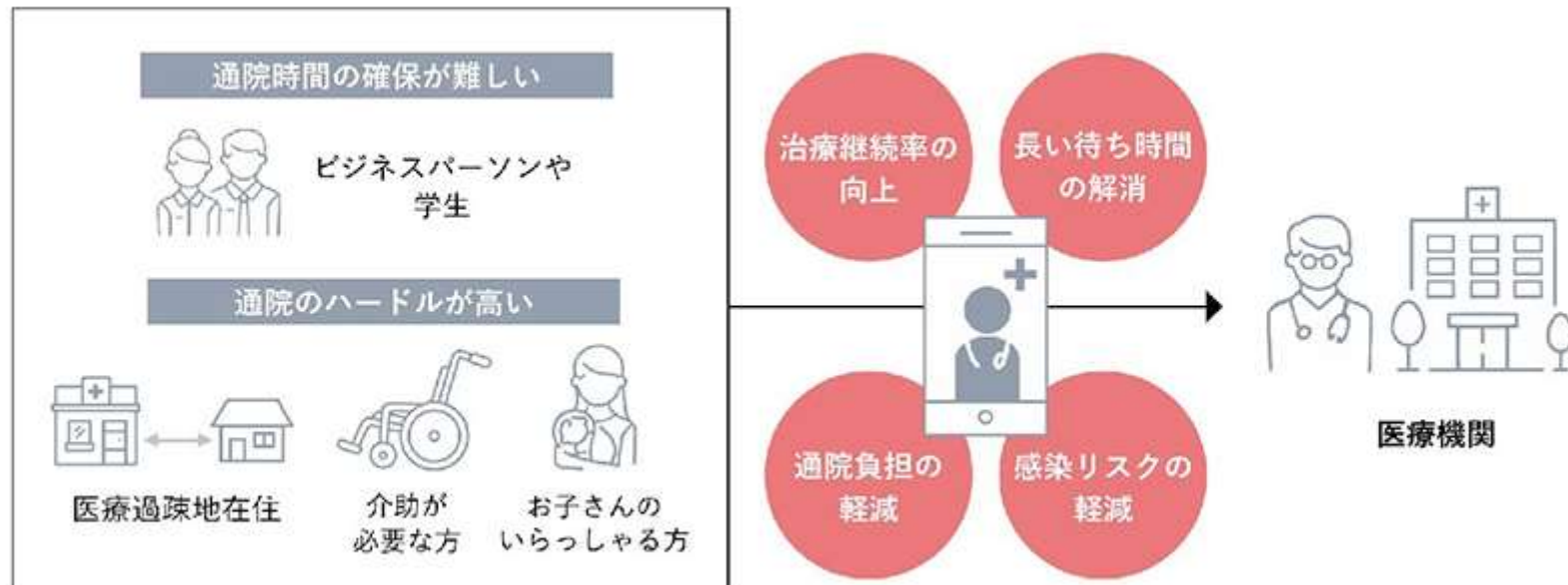
医療ヘルスケアの未来をつくる

長期的な視点で、成し遂げられる組織を

凡事を非凡な水準で極める

オンライン診療の要求

- 通院の物理的・心理的ハードルが高い患者などの通院負担を軽減
 - 働き盛りのビジネスパーソンや学生のように通院時間の確保が難しい
 - 医療過疎地に住んでいる
 - 介助が必要
 - 子どもがいる



オンライン診療アプリCLINICSの開発

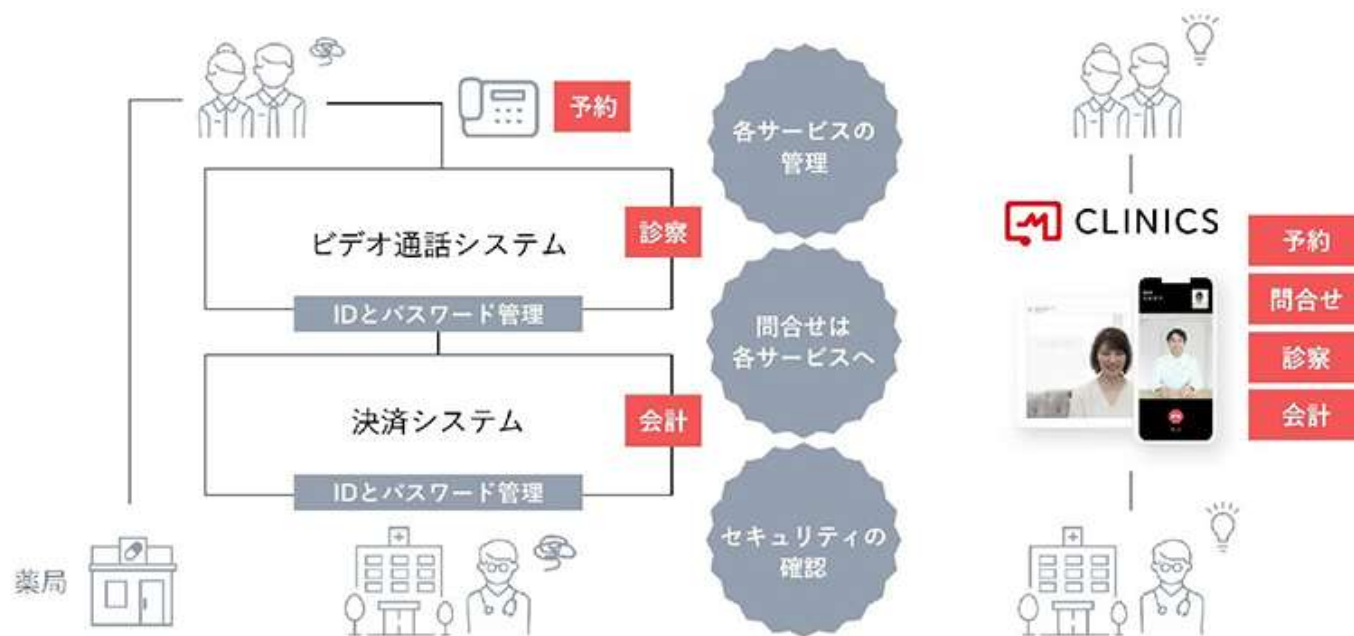
- 「CLINICS」は、株式会社メドレーが開発したPCやスマホを使って、オンライン上で医師の診断を受けることのできる遠隔診療サービス。
- 「CLINICS」の開発チームは、開発サイドであるプロダクトマネージャと、ビジネスサイドである事業責任者が横並び、という2TOP体制を採用。
- 「診療」というこれまでインターネットが浸透してこなかった領域で成功を収めるには、「プロダクトの視点」と「ビジネスの視点」をバランス良く取り入れる必要がある。



オンライン診療アプリ「CLINICS」

オンライン診療アプリCLINICSの特徴

- 厚労省のガイドラインに準拠したセキュリティ対策
- カメラやパソコンといったハードウェア、インターネット環境を整えるところから、院内オペレーションの組み立てまでサポート
- 医療機関や患者さんとコミュニケーションを取って、随時機能のブラッシュアップ



グループワーク①

オンライン診療アプリCLINICSに求められる、機能要件、非機能要件を挙げなさい

分類	要件
機能要件	
非機能要件	

グループワーク②

オンライン診療アプリCLINICSを広く普及させたい。CLINICSのマーケティング対象の患者として、適切な患者と適切でない患者を挙げなさい

分類	要件
適切な患者	
適切でない患者	